

# 秋田と国を結ぶ とがし博之代議士



その一端をご紹介します・・・

## 石破茂地方創生担当大臣を お招きしての講演会が開催決定!

安倍政権は地方創生を最重要政策の一つと位置づけ、新たに設けた地方創生担当大臣の重責に石破茂前幹事を起用し、「まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げました。富樫代議士は石破大臣に、地元秋田での地方創生の中心となる「若者の地方への集積」を目的としたシンポジウムの開催と、これとは別に地元市民800名参加規模による「地方創生で何を指すか」についての講演を提言・要請してきました。そして、大変にお忙しい中、石破大臣の快諾をいただき、この2月6日に地元大学関係者と県内企業、関係機関によるシンポジウム、地元市民を集めての講演会がそれぞれ秋田で開催される運びとなりました。

- 日 時 平成28年2月6日(土) 午前10時~11時30分
- 場 所 秋田キャッスルホテル TEL.834-1141
- 特別講師 地方創生大臣 石破 茂 先生

参加  
無料



たくさんの方に聞いて頂きたいと“とがし代議士”  
※お問い合わせは【とがし博之事務所まで】TEL.018-839-5601



## 齋藤健農林水産副大臣との意見交換会決定!

5年を費やしたTPP交渉が昨年10月大筋合意しました。TPPはアジア太平洋地域に同じ価値観に基づく一つの巨大経済圏を創造し、広範にわたる分野で21世紀型の自由で公平なルールを構築する試みです。協定参加国間で人・モノ・資金の往来が質・量ともに加速し、大企業に留まらず中小企業にとっても新たなビジネスチャンスが広がる一方、大転換期を迎えるのが農林水産分野です。TPP大筋合意後、政府は直に対策本部を設立しましたが、国内農業者の皆さまから「海外の安い農産物が輸入され、経営が厳しくなる」という強い懸念があることから、秋をめぐり国民の皆さまから幅広く意見を募り政策に反映すべく、「農林水産業骨太方針策定PT(プロジェクトチーム)」を立ち上げ、政府・与党が一体となって万全の措置を講ずることとなっています。このようなことから、富樫代議士は政府を代表する一人である齋藤健農林水産副大臣を秋田に招き、将来展望をもって取り組める農業政策の実現に向けて地元農業関係者の皆様と胸襟を開いた意見交換会を開催すべく奔走してきました。そして、この2月13日に開催の実現をみることとなりました。



## “女性の力に期待”<sup>びじん</sup>「美心倶楽部」女性セミナー

### （稲田朋美自由民主党政調会長熱弁!!）

昨年11月3日に富樫代議士を囲んでの女性セミナーが400名を超える参加者で開催されました。特別講師として稲田朋美自由民主党政調会長をお迎えし、「なぜ今、平和安全法制の整備が必要なのか」、「女性が活躍できる社会環境の構築」について1時間30分の基調講演をいただきました。講演終了後の質疑応答では参加者の皆様から数多くの意見や要望がいただきましたが、稲田政調会長もすべて真摯にお応えいただき、セミナーは成功裏に終始しました。

## 第4回美心倶楽部 女性セミナー



## ふるさと秋田の 予算獲得を 国に働きかける とがし博之代議士

国の来年度予算の獲得・確保にむけ、全国の自治体や関係機関がしのぎを削る時期となっています。富樫代議士もふるさと秋田の様々な要望実現のため、地元関係者と一丸となってその予算獲得に汗を流しています。  
その一端をご紹介します・・・



県と市の垣根をはずし柔軟に対応した生活排水の広域共同化「県・秋田臨海処理センターと市・八橋下水道終末処理場の統合」に係る予算確保のため、穂積志秋田市長と前佛和秀県建設部建設技監とともに国土交通省水管理・国土保全局下水道部 塩路勝久下水道部長に予算の重点配分を強く訴える富樫代議士。



海の玄関口となる秋田港の整備事業費予算確保に、秋田みなと振興会の矢吹達夫会長を先頭とする役員の皆様と土井亨国土交通副大臣と江島政務官、菊地港湾局長に秋田港の港湾機能の充実と施設整備についての要望を訴える富樫代議士。



通勤時間帯の混雑緩和と不測時の迂回路機能が期待される「秋田南バイパス」の整備と下浜道路の整備の予算確保も富樫代議士は力を尽くしています。平成27年度補正予算でも下浜道路に5億5,000万円を確保しました。